



# けや中だより

第14号

令和7年3月11日(火)

三田市立けやき台中学校

## ご卒業おめでとうございます

3年生がけや中の生徒として登校するのはよいよあと3日。大掃除、球技大会、3年生送る会。そして卒業式の練習が始まると、あっという間に日は流れたことでしょう。そして、何とも言えない寂しさを感じる人も多いだろうと思います。

4月から1年間、皆さんは「自分たちで考え、自分たちで動き、自分たちで創る」日々を過ごしました。その日々を少し振り返りましょう。

◇6月5日からの修学旅行。「壱番の仲間と岐跡の3日間」をスローガンに掲げ、“この仲間との修学旅行は、一度しかない。全員で実りある旅にしよう”と始まりました。3日間、本当によく楽しみました。マリンスポーツでははじける笑顔。歴史散策やシーキャンドル作りなど興味に応じた活動。どの場面も奇跡の瞬間でした。どんな時でも誰とでも楽しめるってすごい才能・力だと感じました。

“奇跡”の3日間を一緒に過ごした仲間たちは、この後のけやき台中をどんなふうに引っ張るのだろうと期待に胸を膨らませました。

◇10月8日体育大会。3年生は「自分たちがやる」という強い思いをもって準備を進め、本番で力を発揮しました。各団のエール交歓の練習では、「みんなでやろう!」「集まって!」と声を出し、「情熱」と「笑顔」と「優しい言葉」で1、2年生を引っ張る、その姿を見て1、2年生が動く。また1つ「けや中」の伝統が重ねられた瞬間でした。10月3日の予定でしたが雨のために延期、それでもたくさんの保護者や地域の皆さんにも応援いただけたことも感謝です。

この他にも文化祭や部活動、生徒会活動や日々の生活。たくさんの時間が、3年生の皆さんのつながりを強くし、未来を創り上げてくれたのだと思います。

まもなく3年生の皆さんは卒業式を迎えます。9年間の義務教育を終え、4月からはそれぞれの進路先で新たな生活がスタートします。「自分たちで考え、自分たちで動き、自分たちでつくる」、意志あるところに道は開けます。可能性を信じて、置かれた場所で一所懸命努力を積み重ねてください。



## 令和6年度「学校評価」報告

12月に生徒・保護者の皆さんにご協力いただいた「学校評価アンケート」を元に、校内の学校評価委員会で今年度の取組みを振り返りました(内部評価)。2月21日(金)に学校関係者評価委員会を開催し、アンケートの結果や分析、改善方法など内部評価について説明、委員の皆さまに学校運営にかかる助言をいただきました。アンケートに関する評価や今後けやき台中学校において取組む方策について、一部を紹介します。

### <生徒アンケートから>

生徒は、自分やけや中に誇りを持ち、目標に向かって粘り強く取り組んでいます。明るい雰囲気の中で楽しく学校に通い、自分たちの力で学校生活を明るく楽しいものにしようとしています。

授業に前向きに取り組む、計画的に学習を進めています。読書の機会が少なくなっているのが課題と考えます。電子図書の利用を進めるなど、多様な読書機会を提供します。生活面においても、気

持ちの良いあいさつをすることやルール・マナーを守ることなど、規律ある生活を送っています。

地域の行事に9割程度の生徒が参加しており、地域のあたたかさを感じています。地域行事への協力は、半数を超える生徒が地域で活躍しています。地域行事への協力について、呼び掛けたり協力しやすい環境を整備していきます。

<保護者アンケートから>

学校の取組み、指導に関しておおむね肯定的に評価をしていただきました。特に、「わかりやすい授業」「意見を発表したり計画的に学習する指導」「あいさつの指導」などの項目では、昨年を大きく上回る評価をいただきました。

授業改善や学力向上の取組みは、学校が行う最も大切なものです。少人数のグループで意見を交流・発表する機会や自分の考えを説明する活動などを一層充実させると共に、1月のオープンスクールで行ったように、保護者の皆さんに生徒の発表活動を見ていただく機会の充実にも取り組めます。

生徒、保護者共に、自由記述の中で「部活動の時間を長くしてほしい」という意見が多くありました。令和7年度に向けて、1日の時程などの見直しを進め、少しでも長い時間、好きなスポーツや文化活動に取り組めるよう工夫します

皆さまからいただいた意見につきましては、全教職員で共有し次年度の学校経営に生かしてまいります。なお、「学校評価報告書」としてまとめ、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

学校HPへリンクします→



## タブレットの取扱い・保険加入について

一人1台のタブレットが貸与され、学校では学習を深めるツールとしてタブレットを使用しています。また、家庭に持ち帰り、学習や連絡に活用するようにしています。

しかし利用が増えるにつれ、誤ってタブレットを破損させてしまうことが増えており、修理費用が保護者負担となるケースが多くなっているのが現状です。破損の中で最も多いのが、落下や上から圧力をかけることによる画面のひび割れで、4~5万の修理費用がかかってしまいます。

学校でもタブレットの取扱いについては指導をしていますが、ご家庭におかれましても再度「落下する恐れのある場所におかない」「タブレットは手さげカバンなどに入れ圧力がかからないようにする」などご指導ください。

また、安心してタブレットを使用いただくために、「タブレット保険」への加入をお勧めします。加入に関するチラシは3月3日に配布しております。掛け金もお手頃で保険内容も充実されています。この機会に、ご検討いただきますようお願いいたします。チラシがお手元にない場合は、学校へご連絡いただければお渡しできます。



なお、4月1日からの保障を受ける場合、3月26日までにご加入いただく必要があります。チラシをご覧ください、早めの加入をお勧めします。

## 震災を語り継ぐ

14年前の2011年3月11日、東日本を襲った巨大地震。建物が壊れ、大津波が人や家を飲み込み、その後、原子力発電所の事故が起きました。東北から関東地方にかけての太平洋沿岸を中心に、大きな被害をもたらしました。

すぐその後、大震災によって大混乱に陥った被災地において、人々がとった行動について1通のメールが世界中に広がり、「日本から学ぶ10のこと」として多くの人から称賛されました。

※詳細は「日本に(から)学ぶ10のこと」で検索してみてください。動画などで情報が得られます。

動画やニュースを見て、被災地での人々の行動は、人としての「品格」が現れていると感じました。今何をすべきか。どのように行動すればいいか。自分は何ができるか。人としてどう生きればいいのか。自分が同じような状況で、同じように振舞えるかどうか考えさせられました。

2年生はすぐにこの学校のリーダーになります。1年生は後輩を迎えます。新しい生活の中で、これから皆さんはたくさんの幸福と困難に遭遇する。そうした時に、この「10のこと」を心をもって行動し、震災から学ぶこととして語り継いでほしいです。(3/11生徒集会より抜粋)